



ReceiptLine 憲章

Receipt Description Languages Charter

Version 1.0

2020年7月13日 - Release

OFSC 店舗システム分科会
Printer WG

名簿

議長

中村 英雄	セイコーエプソン株式会社
-------	--------------

メンバー

湯澤 一比古	株式会社 廣告社ぶれいん
樋口 悟	シチズン・システムズ株式会社
今福 貴志	株式会社ジャストプランニング
角野 宏司	株式会社ジャストプランニング
藤原 博文	スター精密株式会社
大場 佳男	セイコーインスツル株式会社
岡安 孝昇	セイコーインスツル株式会社
古幡 整	セイコーエプソン株式会社
梅津 紀之	富士通アイソテック株式会社
三浦 愛弓	富士通アイソテック株式会社
村井 芸典	プットメニュー株式会社

事務局

酒美 保夫	一般社団法人オープン・フードサービス・システム・コンソーシアム
-------	---------------------------------

(社名五十音順)

本書に関するお問い合わせは OFSC 事務局で受け付けております。

目次

1. ミッション.....	4
2. 方針.....	5
3. 活動内容.....	6

1. ミッション

専門的な知識を必要とせず、接続性を確保し、手段の多様化に耐えうる、
外食伝票・レシートの出力方法を定義・提案する

OFSC は、飲食業情報システム基盤の社会的整備・拡充を通して、飲食業が広く一般消費者に対しより良いサービスを提供することを可能とし、もって消費者が豊かさ、安全、安心及び健康を確保できる社会環境を実現することを目的とする。そして、日本の食文化の発展に寄与し、社会に貢献することが根源的な使命である。これは 2015 年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」と合致している。豊かで活力ある未来を創ることが OFSC の役割である。

OFSC 標準接続規格の制定から 10 年が経過した。提言である「外食企業に導入される IT 機器の高度接続性の確保」の重要性は現在も変わることがない。一方、社会・経済・市場はこの 10 年間で大きく変化した。クラウドとスマートデバイスの普及、オムニチャネルの浸透、モバイル注文・決済の拡大、キャッシュレス・レジ無し店舗の出現等、環境の変化により外食企業の IT 機器は複雑さを増している。今後、多様化する注文・販売・決済手段をシームレスに統合する柔軟なシステムが求められるだろう。

このような状況を鑑み、OFSC 店舗システム分科会・プリンターWG は、メーカーの垣根を越え、マーケティングとイノベーションに取り組み、社会課題の解決を目指す。OFSC 機器標準接続規格を起点に、専門的な知識を必要とせず、接続性を確保し、手段の多様化に耐えうる、外食伝票・レシートの出力方法を定義・提案する。これにより、より利用価値の高い、新たな IT 機器やソフトウェア製品が数多く市場に投入され、外食業界の未来を劇的に変えてくれるはずである。

2. 方針

OFSC 店舗システム分科会・プリンターWG は、小型ロール紙の出力イメージを表現するレシート記述言語「ReceiptLine」の仕様を開発・公開する。目標を以下に示す。

- 史上最も簡単で便利なプリント中間言語である
- プリンターの機種や紙幅の違いを吸収する
- Web 開発者でも専門的な知識を必要なくソフトウェアを開発できる
- 紙と電子で同様の出力が可能で、媒体に依存しない
- 伝票・レシート・券等を発行するシステムの開発期間を短縮する
- 外食企業のシステム導入・変更・拡張を容易にする

また、できる限り多くの機器をカバーするため、プリンターに関する以下の要素を範囲外とする。

- ページモード(同一行における文字・画像・バーコード・二次元コードの共存)
- 通信制御(インターフェース・ステータス取得・エラー処理)

3. 活動内容

店舗システム分科会・プリンターWG の活動の一環として、ReceiptLine の以下の成果物を開発し公開する。

- ReceiptLine 仕様書
- ReceiptLine 参照実装
 - 表示エンジン
 - 印刷エンジン
 - 開発ツール